

礼 拜 順 序

			司会
			奏楽
前 奏			
招 詞	詩編 100:1-2		
讚 美 歌	157		
読 詩 編	28:1-9		
讚 美 歌	16		
聖 書	旧約 詩編 95:1-11 (p. 933 or 1078) 新約 ヘブライ 4:1-11 (p. 404 or 468)		
祈 禱			
讚 美 歌	520		
説 教	安息にあずかる	秋吉隆雄牧師	
祈 禱			
讚 美 歌	528		
奉 獻	(献金・祈禱)		
主の祈り	93-5-A		
頌 栄	28		
礼 禱			
後 奏			
報 告			

月 日	司会	奏楽	礼拝	受 付	献 金	配 餐	ビデオ
8/ 9 (日)							
8/16 (日)							
8/15 (土)	掃						
8/21 (金)	除						

◇次 週 礼 拜◇

説 教 恵みの座に近づく  
聖 書 詩編 33:12-22  
ヘブライ 4:12-16  
讚美歌 157 16 394 431 28  
交読詩編 28:1-9

◇本日の集会◇

求道者会 礼拝後 於 談話室  
初めて教会に見えた方、求道者  
(洗礼を受けておられない方)は  
お集まりください。

会堂大掃除

昼食の用意があります。皆さ  
んのご協力をお願いいたします。

定例役員会 大掃除後

神奈川教区 8・15 集会

午後 2 時半 於 紅葉坂教会  
講演 「日本ホーリネス教団の  
戦責告白に学ぶ」

講師 上中 栄氏

(日本ホーリネス教団牧師)

◇報告とお願い◇

次主日礼拝後、教会学校教師  
会をいたします。

教会学校では 8 月を「平和月  
間」として「平和」について教会員  
が下記のように説教してくださ  
っています。教会学校礼拝にもご  
出席ください。

夏期学校キャンプでペットボ  
トルが必要です。教会までお届けく  
ださい。

◇集 会 報 告◇

	男 女 計
教会学校子供 8/2	5 14 19
大人 8/2	6 13 19
主 日 礼 拝 8/2	29 61 90
講 演 会 8/2	9 13 22

◇牧師室より◇

特別伝道礼拝説教に来てくださ  
った荒井献先生は、ハンセン病  
の父親が子供に「会いたい」と呼  
びかける新聞の投書から話され  
た。先日、ハンセン病の父親をも  
つ、ご子息・林力氏の「父からの  
手紙-再び『癩者』の息子として

一」を読んだ。人間の罪はこれほど深いものかと涙した。

らい園に隔離されている父は、人に隠れて会いに行こうとする息子に「来るな、別れた後が寂しくなるから」という。更に「病気の父であることが、不服であっても如何ともしがたい。これは親となるも子となるも業縁ならざるはなし。この厳しい業縁の結果は人間の力では解決できない。一中略一父のことは、お前の生涯の秘密である。人生行路の鉄則として味い、世を渡ることにはされたい。父が生前にたのむのはこのことのみである。お願いします。」と書き送っている。氏は、この手紙がもっとも重い内容であったと述懐している。

ハンセン病は特効薬プロミンによって、諸外国では社会復帰が当然とされていた。ところが、日本は「らい予防法」で手錠をかけても收容するという方針を変えなかった。偏見と差別の中で、権力はハンセン病患者の人権を踏みにじってきた。この間のハンセン病患者の苦しみは言語に絶する。それを、森元美代治・美恵子夫妻は「証言・日本人の過ち—ハンセン

病を生きて—」で事実即して訴えている。

林氏も父親もハンセン病の実態を知らなかった。氏はひたかくし、父親もあのような手紙を書かざるを得なかった。しかし、事實は「救らいの父」といわれ文化勲章を受けた光田健輔氏と結びついた権力による人権侵害以外の何ものでもなかった。これを知った氏はハンセン病の父をもつことを公にした。ここには、同和問題で差別と闘う人々との出会いがあった。

氏が公表できたのは大学教師として言論の自由が保証されていたからである。又ハンセン病患者の本当の苦しみを知り得てないと、弱い立場の人を慮っている。しかし、宗教が差別を隠蔽し、増長させていると厳しく批判している。

イエス・キリストは「地の民」といわれ差別され続けた「徴税人、罪人(難病者)、遊女」の中に身を置き、そこから「浄・不浄」の垣根を取り払われた。極限に追いやられたところから真実な声が聞こえる。上昇志向で、世の常識に流される人々が偏見と差別を増幅させている。私もその一人である。

## 週 報

1998年8月9日 聖霊降臨節第11主日

巻19

19号

1998年度 教会主題

「恵みの座に近づこう」

聖句 だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

ヘブライ人への手紙 4章16節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 一人が一人を伝道する。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉隆雄